

日本赤十字社 愛知医療センター
名古屋第一病院 薬剤部 調剤内規

目次

薬袋	P2
錠剤・カプセル剤	P3～P4
散剤	P5～P7
粉碎調剤及びヒートシールの再分包	P8～P10
外用剤	P11～P12
水剤	P13～P15
その他	P16
巻末資料(粉碎不可薬剤)	P17～19

最終改訂：令和5年3月

薬袋

1) 薬袋に表示するもの

- ・処方区分(内服薬、外用剤、注射薬)
- ・処方番号
- ・開始年月日
- ・患者氏名
- ・用法・用量
- ・処方日数
- ・注意事項

2) 注意事項について

- ・処方せんにコメントがあり、薬袋に印刷されない場合、薬袋に調剤者が記載する(外来処方、退院処方、自己管理の入院処方に限る)
- ・錠剤の粉碎またはヒートシールの再分包で、遮光保存が必要な薬剤は「遮光保存」、吸湿性のある薬剤は「吸湿注意」と薬袋に押印する
- ・冷蔵を必要とする薬剤がある場合は「冷所に保管してください」、25℃を超えないところで保管を必要とする薬剤がある場合は「高温を避け涼しいところに保管してください」と印字する
- ・薬袋に「説明書をお読みください」と記載のある薬剤は、説明書を添付する
- ・水剤の1回量の印字が無い場合は、1回量をラベルと薬袋に記載する
- ・添付文書は、原則、取り除く

例外) インスリン製剤、特定生物由来製品、経腸栄養剤、注射用水、消毒綿、エルネオパ

- ・ダイオウ末と混ぜると色が変わる薬剤(酸化マグネシウム)がある場合は、「この散剤は変色しても薬効に変化ありません」の印を押す

錠剤・カプセル剤

1) 一包化調剤

- ・一包化は内服タイミングごとで調剤する

例) 毎食後・寝る前 → 朝食後、昼食後、夕食後、寝る前

①DTA 調剤

- ・DTA 調剤を行う前には必ず手指消毒を行う
- ・DTA 処方指示書に数字またはアルファベットで明細が記載される（下記表の通り）

DTAコード	充填数	I	6.5
A	0.25	J	7.5
B	0.5	K	8.5
C	0.75	L	9.5
D	1.5	M	10.0
E	2.5	N	11.0
F	3.5	O	12.0
G	4.5	P	13.0
H	5.5	⋮	⋮

- ・調剤時は DTA 指示書に調剤印を押し、DTA にセットした各薬剤の数量を記載する
- ・各薬剤の空ヒートと DTA 指示書を錠剤分包指示書に貼付し、薬袋に入れる
- ・1.5 錠以上の 2 分割指示の DTA 調剤は、端数のみ 0.5 錠を使用する

※下記薬剤については DTA 調剤時にゴム手袋を着用する

メソトレキセート錠、テノゼット錠、アルケラン錠、塩酸プロカルバジンカプセル、クリーンルーム用薬剤

②一包化しない錠剤

- ・抗悪性腫瘍薬*
- ・麻薬
- ・その他保存上の問題によるもの

アスパラカリウム錠	アミティーザカプセル	アレンドロン酸錠
EPL カプセル	カイトリル錠	カバサル錠
酸化マグネシウム錠	シュアポスト錠	スインプロイク錠
セルセプトカプセル	センノシド錠	チガソンカプセル
ネオーラルカプセル	バラクルード錠	パンテチン錠
ファスティック錠	ブイフェンド錠	プログラフカプセル
ベネット錠	ベルソムラ錠	メネシット配合錠
ラミシール錠	リマプロストアルファデクス錠	

*例外：ベサノイドカプセル、メソトレキセート錠

③ボトル製品について

- ・原則、一包化調剤を行う
- ・HIV 治療薬、肝炎治療薬(テノゼット錠は除く)は、ボトルを用いて調剤する
- ・アルケラン錠、塩酸プロカルバジンカプセルは、ゴム手袋を着用し、ユニパックに 1 回量を入れる
- ・アルケラン錠を入れるユニパックには薬名の入ったシールを貼付する

④別包で調剤する薬剤

薬剤名		薬剤名	理由
メトホルミン錠	×	オルメサルタン OD 錠	着色
メトホルミン錠	×	レザルタス HD 錠	着色

2) 包装デザインおよび剤形変更時

- ・旧ヒートは入院患者に優先的に使用する
その際、旧ヒートはユニパックに入れて“デザイン変更前”と記載し、調剤する
→同一患者に旧ヒートと新ヒートと混ぜて調剤する場合、新ヒートの薬剤にデザイン変更の用紙を添付する

3) リウマトレックス処方について

- ・別紙(MTX 内服製剤の取扱いについて)を参照

1) 力価(mg)で処方された薬剤は、調剤システムにて製剤量(g)に自動換算される

2) 配合禁忌

薬剤名		薬剤名	理由	調剤方法
アスピリン含有製剤	×	炭酸水素ナトリウム	分解	アスピリン製剤別包
イスコチン原末	×	乳糖	変色	バレイショデンプンで賦形
イスコチン原末	×	ミヤ BM 細粒	着色	イスコチン原末別包
エクセグラン散	×	セレニカ R 顆粒	湿潤	エクセグラン別包
エクセグラン散	×	ハイシー顆粒	着色	エクセグラン別包
エクセグラン散	×	マーズレン配合顆粒	変色	エクセグラン別包
ケフラル細粒	×	炭酸水素ナトリウム	効力低下	エクセグラン別包
トランサミン散	×	ハイシー顆粒	着色、固着	ハイシー顆粒別包
パナルジン錠末	×	パンビタン末	着色	パナルジン別包
ミルラクト細粒	×	乳糖	—	バレイショデンプンで賦形

※酸性薬剤(ハイシー顆粒、クエン酸第一鉄 Na 錠末、パンビタン末等)とアルカリ性薬剤(炭酸水素ナトリウム含有製剤、酸化マグネシウム、ビアサン等)は別包とする

3) 単味調剤する薬剤

アルギ U 配合顆粒	イスコチン原末	塩化ナトリウム
クラリストライシロップ		

4) ジゴシン散について

- ・ 1 日量 0.2mg 未満 — 10000 倍散を使用する
- ・ 1 日量 0.2mg 以上 — 1000 倍散を使用する

5) 吸湿性薬品について

- ・ ユニパックの中に乾燥剤とともに入れる

※錠剤の粉碎後の保存については、次項を参照

6) 透明分包紙を使用する薬剤

- ・ 麻薬

テオドールドライシロップ	ホスリボン配合顆粒	
--------------	-----------	--

7) 錠剤粉末予製

- ・以下の薬剤について錠剤を予め粉碎し、賦形剤を加え定めた量にする

カプトリル錠末(舌下) 1錠=0.2g(賦形剤：白糖 有効期限：2ヵ月)

(カプトリルの外来負荷試験で請求があった場合、その錠数分を常備から出庫する)

ダイフェン配合錠 1錠=0.5g(賦形剤なし)

バイアスピリン 1錠=0.5g

硫酸ポリミキシン B 錠 1錠=0.2g

8) ビアサンについて

1包 1.0-1.167g は製品 1包=1.1g を使用し調剤する

9) その他

○乳糖の量が記載されている場合

- ・原則、処方箋通りの量を秤量する
- ・基本原則に満たない場合は、基本原則に従って賦形する

粉碎調剤及びヒートシールの再分包

1) 粉碎後の安定性に注意を要する薬剤

○遮光保存する薬剤

薬剤	乾燥剤添付	備考
アテレック錠		
アルドメット錠	○	
アンプラーグ錠	○	28日まで
イムラン錠	○(30日以上の場合)	
インデラル錠		
ウテメリン錠		
エパルレスタット錠		
オゼックス錠		7日まで
カバサール錠	○	14日まで
漢方薬	○	
グレースビット錠		
サアミオン錠		
シプロフロキサシン錠		
セイブル錠	○	
タケキャブ錠		
ドルナー錠	○	
ニバジール錠		
ニポラジン錠		
パーロデル錠		
ピタバスタチン錠		
ピドキサール錠		28日まで
ピモベンダン錠		
フラジール錠		
プレマリン錠		
プロテカジン錠		14日まで
ポリスチレンスルホン酸 Na	○	
メキシチール錠		
メスチノン錠	○(60日以上の場合)	
メチコバル錠*		7日まで
メチルエルゴメトリン錠		
メルカゾール錠		
ラミシール錠		
リマプロストアルファデクス錠	○	30日まで

リルゾール錠		
レボセチリジン錠		
レボフロキサシン錠		7日まで
ラメルテオン（ロゼレム）錠		

※赤色遮光袋を使用

○乾燥剤を添付する薬剤

エサンブトール錠	ホスリボン配合顆粒	
----------	-----------	--

2) 割線のない錠剤の不均一処方における粉碎調剤

- ・内服量が整数値の場合、錠剤で調剤し、小数値の場合、粉碎調剤を行う

例) 3.5T/分2 朝2錠 夕1.5錠 → 朝内服分：錠剤 夕内服分：粉碎

3) 漢方薬の再分包

- ・漢方製剤は他の散剤とは別包とする
- ・乾燥剤を添付し、遮光する
- ・1回服用量が1包の倍数の場合は、ヒートを使用する

4) 散剤(ヒートシール)の再分包

- ・小児等で1回服用量が1包未満となる時のみ行なう
〔1回服用量が2包を越す場合はその包数分の1回服用を指示する(再分包しない)〕

5) Capの再分包

- ・入院処方（退院以外）において Cap 粉碎指示で1回服用量が1Cap 単位の場合、原則 Cap のまま調剤、出庫する。

6) 粉碎不可薬剤

下記に該当する薬剤は粉碎不可とする(薬剤名は巻末に記載)

- ・安定性、安全性の問題によるもの
- ・OD錠^{※1}、舌下錠、チュアブル錠
- ・腸溶錠
- ・徐放錠
- ・軟カプセル
- ・抗悪性腫瘍薬^{※2}
- ・散剤・水剤のある薬剤

※1 例外：サムスカ OD錠

※2 例外：メソトレキセート錠

7) 予製品の秤量について(ダイフェン配合錠、ポリミキシン B 錠)
予製剤は散剤の基本原則を越える場合でも、予製剤を使用して良い

8) 簡易懸濁する薬剤

○入院処方において下記薬剤については簡易懸濁法で対応し、以下に示す例外を除き、
粉碎指示がある処方でも錠剤で調剤し、簡易懸濁法の説明書を添付する

対象薬剤：メネシット配合錠、ワーファリン錠

例外) メネシット配合錠の 1 回量が整数値ではない場合

ワーファリン錠の 1 回量が 0.5 錠の倍数ではない場合

※退院処方、外来処方は、処方通りに粉碎調剤する

外用剤

1) 吸入薬

①配合禁忌

アレベール吸入用溶解液	×	ブロムヘキシシン吸入液
-------------	---	-------------

②単味調剤する薬剤

インタール吸入液

③アスプールの吸入液

混合可能な薬液；生食、アレベール、ブロムヘキシシン

(薬剤部で混合可能な薬液は生食のみでアレベール、ブロムヘキシシンは使用直前に混合する)

④その他

- ・希釈して調剤する場合、1回量を0.1mL単位で最低量となるようにする
- ・全量が105mLをこえる場合、適切な容量の容器に分割し、調剤する

2) 軟膏・クリーム

①注意事項

- ・サリチル酸ワセリン調剤時はプラスチックヘラを使用する
(金属ヘラが腐蝕するため)

②軟膏 MIX について

- ・軟膏基剤同士または、主薬を含有した外用剤と基剤の混合は薬局で調剤するが、主薬を含んだ外用剤同士の混合は原則として行わない
(軟膏基剤：プロペト、ヘパリンクリーム (ヒトイトソフト)、亜鉛華単軟膏など)
- ・3剤以上の混合は行わない

3) 院内製剤(予製品)について

○容器・・・製剤室専用の容器を使用せず、以下の容器で調剤する

褐色ポリ瓶	ヒビテングルコネート、各種ネブライザー液(A,B,L)
褐色ガラス瓶	止痒液、オリーブ油
透明ガラス瓶	メンタ水

4) 溶解せずに調剤する薬剤

下記薬剤は、医師の溶解指示がある場合を除き、溶解せずに在庫する

ベストロン点眼液	ベストロン点耳液	ホスミシン点耳液
----------	----------	----------

5) 小児用トラマゾリン点鼻液

- ・専用噴霧器を用いず、褐色ポリ瓶(30ml)を用いる

6) 秤量用シリンジ

- ・外来処方、退院処方には用量に応じたシリンジを添付する
シリンジ …… 5ml、2.5ml、1ml

7) 貼付剤の分割使用について

- ・入院処方、外来処方問わず、貼付薬を分割使用する際は、残破棄する
- ・分割使用時は、1回 0.5 枚または 1回 0.25 枚のシールを貼付する
- ・入院処方は、薬剤に 1 枚ずつ貼付し、外来処方、退院処方は、薬袋に貼付する

8) その他

①ブロムヘキシン吸入液について

- ・冷所保管しない
- ・他薬との混合の際に、「冷所に保管してください」と薬袋・ラベルに表記されるため、その文言を消す

②坐薬の使用説明書について

- ・テレミンソフトを除く坐薬は、所定の添付文書を添付する

水剤

■基本原則

◎「1)原液で調剤する薬剤」以外の薬剤は下記原則に従い、常水で賦形する

◎成人用水剤

分3	全て 500ml 瓶を用い、7 の目盛を使用し賦形する
分1~2	1 回量 30ml とする
分4~6	1 回量 15ml とする
頓服	目盛を使用して調剤する(原液以外) 1 回量は、カップ使用時の量を目安に目盛をつける 1~10 回 … 1 回量 30ml を目安に目盛をつける 11~15 回 … 500ml 瓶の 15 の目盛(分3、5 日分)を使用 16 回以上 … 500ml 瓶の 21 の目盛(分3、7 日分)を使用

◎小児用水剤・・・15 歳未満が対象 15 歳以上は小児科であっても成人と同様に調剤する

分3	下記「小児用水剤の分3 処方の水剤ボトル換算」に従う
分3 以外(分1、2、4 等) ※カップを使用する場合	5 歳未満 … 1 回量 5ml 5 歳以上 … 1 回量 10ml ※原液で 1 回 10ml を超える場合、1 回量を 5 の倍数にする
頓服	原液以外は目盛を使用して賦形する 1 回量は、カップ使用時の量を目安に目盛を使用する

・小児用水剤の分3 処方の水剤ボトル換算

0~5 歳未満			5~15 歳未満		
日数	ボトル	目盛	日数	ボトル	目盛
1 日分	30ml	2 の目盛	1 日分	60ml	2 の目盛
2 日分	30ml	2 の目盛	2 日分	60ml	2 の目盛
3 日分	60ml	3 の目盛	3 日分	100 ml	3 の目盛
4 日分	60ml	4 の目盛	4 日分	100 ml	4 の目盛
5 日分	100ml	5 の目盛	5 日分	200 ml	5 の目盛
6 日分	100ml	7 の目盛	6 日分	200 ml	7 の目盛
7 日分	100ml	7 の目盛	7 日分	200ml	7 の目盛

※アルファロール内用液、イトラコナゾール内用液、ネオオーラル内用液、ファンギゾンシロップ、ヘマンジオールシロップは、16 日以上の処方でも包装容器で出庫できる場合はその容器を利用し分割しない

6) 秤量用カップ、シリンジについて

- ・退院処方、外来処方には用量に応じて、カップまたはシリンジを添付する

カップ …… 30ml、20ml、10ml

シリンジ …… 1ml

7) その他

○デパケンシロップ、インクレミンシロップについて

- ・入院処方は小数点 1 桁まで原液調剤する
- ・退院処方は 1 回量が整数値にならない場合、常水で賦形し、最小整数値とする

○希釈について

処方せんの記載と内服量が異なる場合は、ボトルに 1 回 1 目盛（マジックでこの目盛使用と分かるように印もつける）あるいは 1 回 ○ml のシールを貼り、注意喚起する

その他

◎クリーンルーム用処方

- ・原則、一包化せず、計数調剤を行う
- ・散剤・水剤調製時には、使用する器具をアルコールで清拭する等クリーンな調剤行為を実施する
- ・調剤時は、手指消毒し、ゴム手袋を着用して調剤行為を実施する
- ・散剤分包機はクリーンルーム用散剤分包機を使用する
- ・ダイオウ末は、小型の散剤分包機は使用しない

◎NICU/GCU のロタリックス・ロタテック内用液について

- ・薬剤部では、調剤しない
- ・処方箋に調剤印、検薬印を押印し、薬袋は破棄し、処方箋控えのみ病棟へ出庫する

◎ベナンボックス吸入、ロイコボリンうがい液用注射用水について

- ・ベナンボックス吸入用注射用水は、点滴用注射用水を調剤する
- ・ロイコボリンうがい液の蒸留水は、外用注射用水を調剤する

巻末資料

◎粉砕不可薬剤

・安定性、安全性の問題によるもの

アイセントレス錠	アイピーディカプセル	アスパラ CA 錠
アスペノンカプセル	アレンドロン酸錠	アンコチル錠
イトリゾールカプセル	イムラン錠	ヴォリブリス錠
エルカルチン FF 錠	オフエブカプセル 100mg	オフエブカプセル 150mg
オルミエント錠	カバサール錠	サイトテック錠
サーティカン錠	ストロカイン錠	セルセプトカプセル
セルニルトン錠	ゼルヤンツ錠	デュファストン錠
ノアルテン錠	ノウリアスト錠	ノルレボ錠
バラクルード錠	バラシクロビル錠 500mg	バリキサ錠
ビ・シフロール錠 0.125mg	ビ・シフロール錠 0.5mg	ビタメジン配合カプセル
ビビアント錠	ビルトリシド錠	プラザキサカプセル 75mg
プラザキサカプセル 110mg	プラノバル配合錠	フリウェル配合錠
ブレディニン錠 25mg	ブレディニン錠 50mg	プレバイミス錠
プレマリン錠	プレミネント配合錠 LD	プロベラ錠
ベシケア錠	ベネット錠	ベルソムラ錠 15mg
ベルソムラ錠 20mg	マリゼブ錠	モンテルカスト錠
ヤーズフレックス配合錠	ラジレス錠	ラミクタール錠 100mg
リウマトレックスカプセル	ラミクタール錠 2mg	ラミクタール錠 5mg
ラミクタール錠 25mg	リフキシマ錠	ルトラール錠
ルナベル配合錠 ULD	ルボックス錠	レベトールカプセル

・OD錠、舌下錠、チュアブル錠

アミオダロン塩酸塩速崩錠	アリセプト D 錠 3mg	アリセプト D 錠 5mg
イグザレルト OD 錠 10mg	イグザレルト OD 錠 15mg	イミダフェナシン OD 錠
イリボーOD錠	ウリトス OD 錠	エストリール錠
エビリファイ OD 錠	エフィエント OD 錠 20mg	エフピーOD錠
オランザピン OD 錠	カルタン OD 錠	クレメジン速崩錠
シクレスト舌下錠	ジプレキサザイデイス錠	シロスタゾール OD 錠 50mg
シロスタゾール OD 錠 100mg	シロドシン OD 錠	シングレアチュアブル錠
タムスロシン塩酸塩 OD 錠	デノタスチュアブル配合錠	ドプス OD 錠
トラセミド OD 錠	トラマール OD 錠 25mg	トラマール OD 錠 50mg
トレリーフ OD 錠	ナフトピジル OD 錠	ニトロペン舌下錠
ピオグリタゾン OD 錠	ピタバスタチンカルシウム OD 錠	ファモチジン D 錠
プレガバリン OD 錠 25mg	プレガバリン OD 錠 75mg	ブロチゾラム OD 錠
ベポタスチンベシル酸塩 OD 錠	ボグリボース OD 錠	ボラプレジック OD 錠

マクサルト RPD 錠	ミニリンメルト OD 錠 60 μ g	ミニリンメルト OD 錠 120 μ g
メマンチン塩酸塩 OD 錠 5mg	メマンチン塩酸塩 OD 錠 20mg	リクシアナ OD 錠 30mg
リクシアナ OD 錠 60mg	リスモダン R 錠 150mg	レミッチ OD 錠
レミニール OD 錠 4mg	レミニール OD 錠 8mg	ロスバスタチン OD 錠

・腸溶錠

アザルフィジン EN 錠	アデホスコワ腸溶錠	エクセラゼ配合錠
エビプロスタット配合錠 DB	カルナクリン錠	キャブピリン配合錠
サインバルタカプセル	テクフィデラカプセル 120mg	テクフィデラカプセル 240mg
ノクサフィル錠	ピドキサール錠	ラベプラゾール錠
リパクレオンカプセル		

・徐放錠

アサコール錠	アダラート CR 錠	イフェクサーSR カプセル
エブランチルカプセル	塩化カリウム徐放錠	ケアロード LA 錠
ケタスカプセル	テオドール錠	デパケン R 錠 100mg
デパケン R 錠 200mg	トビエース錠	パキシル CR 錠
フェロ・グラデュメット錠	ベザトール SR 錠	ベタニス錠
ヘルベッサR カプセル	ペンタサ錠	ミラペックス LA 錠 0.375mg
ミラペックス LA 錠 1.5mg	ユニフィル LA 錠	リアルダ錠
レキップ CR 錠 2mg	レキップ CR 錠 8mg	

・軟カプセル

アミティーザカプセル	アルファロールカプセル 0.25 μ g	アルファロールカプセル 1 μ g
EPL カプセル	エディロールカプセル	グラケーカプセル
デュタステリドカプセル	ネオーラルカプセル	ヘモクロンカプセル
メトピロンカプセル	ユベラ N ソフトカプセル	

・抗悪性腫瘍薬

アイクルシグ錠	アグリリンカプセル	アナストロゾール錠
アフィニトール錠	アムノレイク錠	アルケラン錠
アレセンサカプセル	アロマシン錠	イブランスカプセル 25mg
イブランスカプセル 125mg	イムブルビカカプセル	インライタ錠 1mg
インライタ錠 5mg	ヴォトリエント錠	エスワントイホウ配合 OD 錠 T20
エスワントイホウ配合 OD 錠 T25	エンドキサン錠	オペプリム
カペシタビン錠	カボメティクス錠 20mg	カボメティクス錠 60mg
ゲフィチニブ錠	ザーコリカプセル 200mg	ザーコリカプセル 250mg
ジオトリフ錠 20mg	ジオトリフ錠 30mg	ジオトリフ錠 150mg
ジャカビ錠	スタラシドカプセル	スチバーガ錠
スーテントカプセル	スプリセル錠 20mg	スプリセル錠 50mg

ゼージュラカプセル	ゾスパタ錠	ゾリンザカプセル
タイケルブ錠	タグリッソ錠 40mg	タグリッソ錠 80mg
タモキシフェン錠	タルセバ錠 25mg	タルセバ錠 150mg
テモゾロミド錠 20mg	テモゾロミド錠 100mg	ニンラーロカプセル 2mg
ニンラーロカプセル 3mg	ニンラーロカプセル 4mg	ネクサバル錠
ハイドレアカプセル	ヒスロンH錠	ビラフトビカプセル
フェアストン錠	フルダラ錠	プロスタール錠
ベサノイドカプセル	ベージニオ錠 10mg	ベージニオ錠 50mg
ベージニオ錠 100mg	ベネクレクタ錠 10mg	ベネクレクタ錠 50mg
ベネクレクタ錠 100mg	ベレキシブル錠	ボシュリフ錠
ポマリストカプセル 2mg	ポマリストカプセル 3mg	ポマリストカプセル 4mg
ムンデシンカプセル	メクトビ錠	ユーエフティ配合カプセル T100
ユーゼル錠	ラストットSカプセル 25mg	ラストットSカプセル 50mg
ラパリムス錠	リムパーザ錠 100mg	リムパーザ錠 150mg
レトロゾール錠	レブラミドカプセル	レンビマカプセル 4mg
レンビマカプセル 10mg	ロズリートレクカプセル 100mg	ロズリートレクカプセル 200mg
ローブレナ錠 25mg	ローブレナ錠 100mg	ロンサーフ配合錠 T15
ロンサーフ配合錠 T20		

・散剤・水剤のある薬剤

アスパラカリウム錠	アセトアミノフェン錠	アドナ錠
イスコチン錠	エクセグラン錠	エリスロシン錠
カルボシステイン錠	カロナール錠	クラリシッド錠 200mg
クラリシッド錠 50mg	ケフラルカプセル	サワシリンカプセル
酸化マグネシウム錠	ジゴキシン錠	ジスロマック錠
ジピリダモール錠	セフカペンピボキシル塩酸塩錠	セフゾンカプセル
セルシン錠	セレネース錠	セロクエル錠
タチオン錠	チラーヂンS錠	トランサミン錠
ナウゼリン錠	ハーフジゴキシン錠	パンテチン錠
ビタメジン配合カプセル	ファロム錠	ブイフェンド錠 200mg
ブイフェンド錠 50mg	フェノバル錠	フスコデ配合錠
プランルカスト錠	ホスミシン錠	ポンターカプセル
マイスタン錠	ミノマイシンカプセル	ムコサル錠
メプチンミニ錠	モサプリドクエン酸塩錠	リボトリール錠 0.5mg
リボトリール錠 2mg	ロキソプロフェン錠	ロペラミドカプセル